

# トピックス

## 北米向け自動車シート骨格用に100キロ超ハイテンを納入

当社は、鋼材メーカーとして初めて北米自動車シートメーカー向けに100キロ超ハイテン(高張力鋼板)材の量産納入を開始しました。このシート部品は、トヨタ自動車株式会社が米国で生産している「シエナ(SIENNA)」に搭載されます。

自動車業界は、環境対応と安全性向上に積極的に取り組み、なかでも燃費向上によるCO<sub>2</sub>排出削減を図るため、車両の軽量化が重要な課題になっています。自動車シート部品に100キロ超ハイテンを使用することによって、従来に比べて10~20%の軽量化を実現しました。

自動車軽量化の手段としてますますハイテン化が進むものと思われませんが、「ハイテンの神戸」と評価をいただいている当社は、今後更にグローバルな視野に立った超ハイテンの開発、量産化を進めていきます。



ハイテンが採用されたシート部品  
(アジャスター部分)

## 米国でアルミ鍛造の合弁会社を設立

当社と三井物産株式会社、豊田通商株式会社の3社は、米国ケンタッキー州ボーリンググリーン市に自動車サスペンション用アルミ鍛造品の製造・販売を行なう合弁会社「コウベ アルミナム オートモーティブ プロダクツ社(Kobe Aluminum Automotive Products LLC)」を設立しました。

資本金は1,400万ドルで、当社60%、三井物産25%、豊田通商15%が出資し、2005年(平成17年)6月操業開始の予定です。



コウベ アルミナム オートモーティブ プロダクツ社の完成予想図

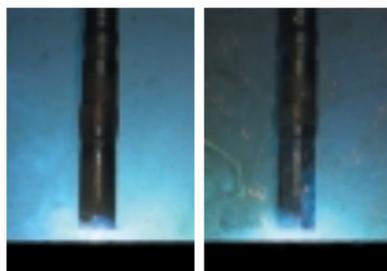
自動車業界は、環境規制をクリアするため車両の軽量化を進め、サスペンション部品をアルミ化していますが、より軽量化できる鍛造品の採用拡大が見込まれます。

## 溶接材料の海外生産を拡大

溶接材料の世界シェアの拡大を目指して当社は、海外生産の拡充を強化していきます。

すでに昨年、韓国で設備能力を30%増強、タイでもソリッドワイヤ設備を25%増強中です。また、国内の3倍以上の需要が見込まれる中国では、本年9月に合弁会社「唐山神鋼溶接材料有限公司」が操業を開始しています。一方、高級品種での競争力強化を踏まえた欧米への対応として、現地生産も検討中です。そして現在の世界シェア(推定7%)を更に引き上げることを目指します。

国内では、溶接材料の生産集約を行なうことで本年10月、ジェイ エフ イースチール(JFEスチール)株式会社と共同出資によるコウベ・ジェイ エフ イー ウェルディング(KOBE・JFEウェルディング)株式会社を設立しました。これにより製造コスト・材料購入費・物流コストの低減が期待できます。



ソリッドワイヤのミグ溶接でのスパッタ発生状況  
(左:新開発の銅めっきなしワイヤ 右:従来の銅めっきワイヤ)

## 木質系・農業系バイオマスのガス化発電技術で提携

当社は、木質系・農業系バイオマスのガス化発電技術分野において、商業規模で数多くの実績を持つ欧米メーカーと市場開拓へ向けた提携を行いました。

京都議定書に基づく地球温暖化ガス削減への取り組み、バイオマス・ニッポン総合戦略の策定、また、新エネルギー法の施行などにより、日本でもバイオマス発電に対する市場の期待が急速に高まっています。

今回の提携によって、木質系・農業系バイオマスからのエネルギー利用を検討するお客さまのニーズに対して、豊富な商業実績に裏付けされた信頼性の高いプロセスを提供します。

## 高効率・省エネのスクリュコンプレッサをラインナップ

当社と子会社であるコベルコ・コンプレッサ株式会社は、省エネ効果の高い油冷式スクリュコンプレッサ「コベライアン」の新機種と、省エネロジックを採用したオイルフリースクリュコンプレッサ「エメロード」をラインナップしました。

「コベライアン」は、昨秋に販売を開始し市場から高い評価を受けるとともに、昨年度、省エネ機器として日本機械工業連合会会長賞を受賞しました。



油冷式スクリュコンプレッサ  
「コベライアン」

そして今夏より、省エネ効率をさらに高めた高性能新商品4機種を上市しました。工場の省エネには欠かせない存在として高い評価を得ています。

「エメロード」は、省エネロジックの採用により、空気圧縮時の無駄な昇圧運転をおさえるとともに、冷却ファンのエネルギーロスも低減し効率的な運転を実現しました。オイルフリーの特性を活かして半導体・液晶工場や食品関係などで好評を得ています。

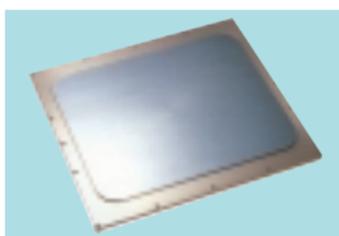
## 液晶ディスプレイ配線用Al-Nd(アルミ・ネオジウム)合金材の量産拡大

当社と子会社である株式会社コベルコ科研は、液晶ディスプレイ配線用Al合金材料で世界の80%のシェアを有していますが、その主力製品であるAl-Nd合金の更なる量産拡大を進めています。

液晶ディスプレイは、今後の家庭用テレビの主流として爆発的な市場規模の拡大が予測されています。コベルコ科研では、液晶ディスプレイの微細薄膜配線を形成する際の原料となるスパッタリングターゲット(Al合金板材)を製造していますが、液晶テレビ量産時の重要な課題となる大型ターゲット材の量産技術を確立しました。

一方、当社は、ドライエッチングプロセスやダイレクトコンタクト構造などの新しいニーズに対応した新規Al合金ターゲットの開発にも成功しています。

今後、更に発展するエレクトロニクス分野でも、アルミを始めとした当社素材技術を活かした新製品開発を進めていきます。



Al-Ndスパッタリングターゲット  
(サイズ:最大幅170cm×140cm、厚さ1cm程度)